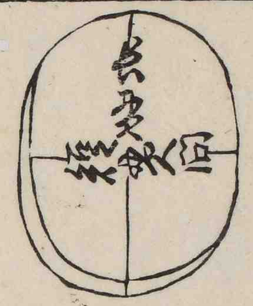
て六万八百六十六歩を右の八三八を
以て割は積価廿二万余と知る



今問ふ所の田廿二坪五合
なる者一反八寸の立田積
いくらして積歩何程哉
答曰積歩一反六寸七分〇厘〇毛
法曰歩一反八寸へ立法六十をかけて九
寸六分八厘を掛て枡高一尺とする歩
反八寸の内九寸六分八厘を除

歩とする故九寸六分八
厘を高一尺へうけて百十四歩二分五
厘を以て実を一物割は高一尺也
六歩五分〇厘八毛廿坪又一尺一四二へ高
一尺をかけ右の内百十四歩二へ加く
小百廿八歩四分五厘枡次の高六寸と
立歩と掛して一尺へ物高一尺へ加て小尺
位物高一尺をかけて二百歩五分八

をとりて五十六歩うえを右小百廿八歩
ほかの四辺ゑて百七十二歩四ふまを根
二の高さすく二八をとりて一すほふえを
ちの一尺二寸ほふ二りの四辺ゑて一尺〇〇
二りをえを二の高さすけて五寸〇一
をえをとれば百七十二歩四へ加て小百廿
小歩六ふえをえて実を一初別い高さ
すを三百百六十七坪六ふまを根三の高

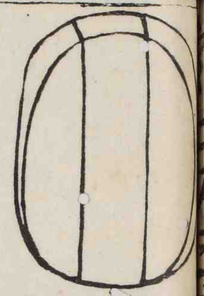
歩六ふへ加て小百七十小歩六ふまを
初高一尺をり系して百歩えを二八を
りけて廿八歩えをとれ小百七十小歩六ふへ
加て三百〇〇六坪さ〳〵三の高七ふと右
一尺五寸をりを信して一すほふえを初と
二ての高一尺六すほふへ初二の
高一尺六すをりけて小百四十六歩を坪を
二八をりけて六十八歩八坪えを三百〇

○たゝの内川ゟて小石三十一歩七二分
幅又三の高七ふへ二八をうけて下れり
たもとをたれ一尺〇〇二の内川ゟて九
寸八二四分五二三の高七ふをけたる歩
八七たハをたゝ乃小石三十一歩七二へ加て小
石三十八歩五ふ九り六毛八糸分五毛を
以て実を一桁別高七ふとなる毛
以てたゝ乃小石三十一歩七二へ加て右

毛を以て石子二寸二分の弧
を作る時は縄長五尺八分
ぐらいあるべし長縄長を言

答曰長縄三尺　縄長二尺五寸

法曰弧法八十めを以て右の弧三百
十七歩八百三十ふを別す坪三千九百
七十二坪九ふ分根石子二寸へ実法七ふ六
毛を乗けて一寸五ふ三分毛を以て

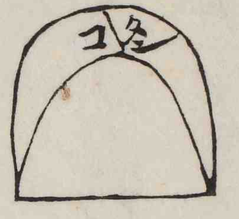


答曰 縦法六寸九八又 左右深二寸七三七六
長法一尺一七八又 真中深一寸七四八八
法曰長実一尺巾寸の内縦実七寸二分を
引残る四寸八分へ因法七九をかけて三寸
七九二分又七寸二分へ玉法五一をかけて三寸
九七二分を右三寸七九二分を加て七寸四

六二分を乗じ長尺一六寸を以て割は
六分三厘十四間宮減法二分三厘を
引残る三分九二五を法とし極積歩人
七寸二分を乗じ五十一歩八四を
得て又十一歩八四を
以て三分を割は十七歩二八分を
信して三十四歩又六分を開平割
又寸八七八七分を乗歩七寸二分の
四角残る一寸三二三を以て又寸八
七七八七分を乗歩七寸二分の
四七九二寸四三二分を乗歩七寸
二分を以て割は四分二厘三毛又分
を右の又寸八七八七の四角残る又
寸四又又二を引て割二寸七二七六分
を乗積極積歩さくび二寸七二
七六を乗歩七寸二分の四角残る四寸
四七二四を右の寸七二七六をうけて
十二歩二九八九一八二四分を乗二四をうけて

四十八歩七九五六七二九六六五五五開平方別ちす九八五五五五五五四寸八五五和て長廻一尺一寸七八五五五

八



今長廻一尺五寸 矩長一尺二寸 之面積を求ける長乃中ふを掛け
ぶくたたみ積流たす五ふ坪

答曰ス坪百九十九坪一ふ〇五一式

法曰矩長一尺二寸のりを掛て百四十四
寸歩を加て百ちす五歩一二五五五五五五五
開平方別一尺二寸八五五五五五五四矩長一
尺小寸を引おこ八ふ小より矢之面矩長
一尺小寸の内矢八ふ小より引おこ一尺一寸
一五へ八ふ小りをはして九歩四七七五五五
五五ふをけて三十七歩九一五五五五五長
開平方別法ちす一五七五五五五五長
寸七寸五の内矢八ふ小より引おこ六寸

六分五毛四厘五毛極法六寸一分七毛へ掛
積のちがいまる一寸五分をもつけて九寸
三三分六毛を右北四角面積六分をかく
別一寸三八八八五極法とこ一分小寸の円
一寸三八八八を引ける二分の一二三をかうこ
別六寸三分〇分六厘五毛よ一寸三八八八を
加て六寸六四四五毛こ六寸三〇分六厘を
掛て三十分歩八一七八〇八六四五毛こ
掛て面積十本本作本本本本本本本本本本本
の周三分七寸九四四を引て別一分八寸九七三
乃円経流六寸六分を引ける別
六寸二三六五毛さく掛六寸三六へ分の
分六厘をかけ寸歩三十三歩〇八分七二一六厘
掛毛二法一分八一寸九分をかけて寸坪三百
九十三坪七二五毛を定法三一をかく
別百坪七坪五分をかけて小百分の坪四坪
五毛さく経歩八一分八小寸をとりて

百四十四歩ニ成ル
八百六十四坪ニ成
十坪○六ツ四リ五毛四門右の小百八十四坪
川ハ〆百八十六坪六四ニ成ル
尺ハ〆の内一尺一寸九分を川ハ〆一分
をかゝ別ハリ毛ハ〆ハリをとり
高てハリ六毛ニ六をのけて一分
ハリ〆〆〆右一寸三八八をとりて
[illegible]
一寸三九二八毛ニ成ル
けて八歩三六六八毛ニ成ル
門ハリ川ハ〆るハ寸九分ハリへ一寸三
八八をけて八歩二六三三六ニ成る
毛を右の八歩三六六八の内川ハ〆
九リ三四四ニ成ル〆一寸三八八を乗
それに一尺一寸九分をけて十六歩又二
六七二毛ニ右の九リ三四四を加て十六歩

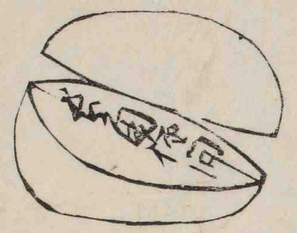
六二〇一六坪をこのちがい三
すをうけて四十九坪八六〇四八坪を
四つに割十八坪四六五一坪を加てし坪数百九十九
坪一〇五一坪あるをもとめるなり

けだし橋共に長徑が短徑共五百
五間弱其中乃地形の角
分角之比徑十九乃至中乃間形
の長徑短徑共世界

答曰 長徑十五乃三七三九二
短徑三十乃坪に割すれば乃至
ゆえに一百坪十八坪又長徑のまた
十坪乃まをとりゆえに一百五十六歩
二五右坪口合て三百八十一坪五合五勺
四方に割十九乃二五坪を角徑
十九乃をもつて割九乃坪を長へ短徑
十二乃まをとけて百十八歩七五〇五

えを右に十九万又二又を以て別は
六万〇八一九に六〇六えとりあつて三
十六万の九九〇〇六七六又九万まへ也徑
まつ又万をうけて百に十八歩又二万九
えを十九万又二又を以て別は七万
二〇二六さて也徑のちがいを万
を以て別は万まへえを右七万二
〇一の角に対して万七〇一万えを角

三十九歩九分よりも大歩あり
九に六八六えを四五平に別七万六八六九
六えを倍して徑の角徑十又万三
七三九二六えに又万加て也徑廿万〇三七三九二

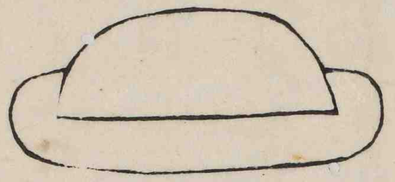


今長周又又すふ徑周三又
二すに徑を為て切り切り
の長角徑徑徑徑徑徑
但し角と長十八方堅よりとへこれ
は角より角よりあるゆえなり

答曰 長廿二尺〇寸〇分二厘
角径一尺九寸五分

法曰 径周三尺〇寸を三倍して
径径一尺〇一〇分を加て長周又又四寸の
円径周三尺〇寸を引て〇尺三寸又
径廿〇分を別一尺一寸七分より長さ
径廿一尺〇一〇分を加て長廿二尺一八七
分の円又又を長廿二尺一寸八分七厘を
以て別八〇寸七一八又長さをとり
て七寸三九〇二〇二三又長又右の四寸
八七分をとり寄て三十〇歩又一又六
〇分八厘七歩三九〇二〇二三又を加て四
十一歩九〇又八六七二又長さを再度別
六寸〇七三〇分長さを以て右九三十〇
歩又一六二又を別ては寸三二長

を乗じて廿八歩に三〇分二厘を得
て廿八歩を乗ずる。六分をとりて捨て
廿八歩の六〇三六を乗ずる。右の廿八歩に
三〇分二厘を加て八十四歩〇三三八分に
なる。四右の三十四歩を八一八二を乗
ずる十九歩の八一八一九九を乗ずる。割ずす
四一八二を乗じ右の八ずす三分三厘分
を加く九ずす七分八厘を得ル



の屋敷を四間で廻る。深さ一尋ま
ゝ東西を塀地取をまきを
長さ四尺宛割しまきを形につき山伏
塀のたぐ紙を貼紙を貼地
塀五ゝ形をつきヤ塀ゝて

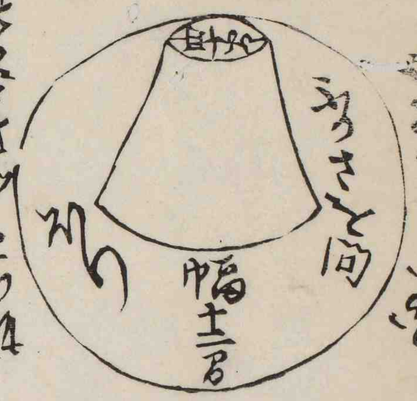
山長紙廿七尋八一〇八六
答曰 山紙紙十二尋八一〇八六
塀之幅十一尋〇九四八七

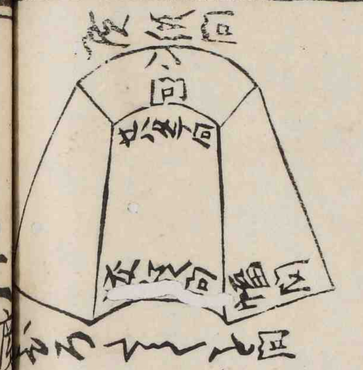
法曰三十五万〇四千七九を掛て廿七万
六千五百五〇を引残のちがへまる百を加
て四十八万六千八百五〇を残便三十五万
を掛て千四百九十八歩七五八百五〇を引
一万を掛て千信を引残四千四百七十八
歩二五八百五〇を法五一を以て割は
八千七百八十歩〇八八百五〇を残の歩
を以て溝信三万加て十八万百五〇を
引残七百八十歩〇八八百五〇を掛て七万
〇二百四十七歩〇四百五〇を引残廿七万八千五〇を
掛て七百七十六歩一七九六三を以
て又廿七万八千五〇を掛て小万千六百五
四歩三六三六六百五〇を信して四万
三千小百四十八歩七二七三二三百五〇を三
ツ割一万四千四百十六歩小四百五〇を
右七万〇二百四十七歩〇四の内川弦

又万又千八百三十万〇八千又源張三万
を加法入一を以て別又万八千三又
之、長さ十又万とをかけて又三をかけん
千百六十四万七〇又七又若之は廿七万八六
とかけて七千三百七十四万七〇二九又若
之、又万又千八百三千万〇八千を加て六
万三千千百〇又万又〇千一九五若さて
七百七十六歩一七九六の内右の千百六十
七三八千千千

福高六十万をかけて三千九百六十歩
内六百十一歩四七三八又三千四百
四十八歩又二六一又をかくれば積を一形
別は高六万と斜の小角七十二坪
川巾三千百三十坪○七七六二九又あり
又三の高二分とうえを六十六万二分と五
毛三六十六万をかけて四千三百六十九歩
二分内六百十一歩四七三八又を川巾

角二毛六糸六六を川巾三百六十
九坪二三八四毛さくさくひくるひもちの
三千百六十六万二九二六三
万四十七万八六六を川巾三十八
万四三二六毛三万三別つまやもの程
坪十二万八一〇八六毛ゞ十四万加て廿
七万八一〇八六毛つまり此坪数根本高
の角十二万八一〇八六を川巾を二万三別八幅





乃坪一万六千五百六十四
又公倫中付廣狹下狹長狹八尺四
寸狹下幅八下狹廣狹下狹長八尺
狹狹長狹上幅狹上狹長狹

答曰

上 狹狹八十五万五百六十四

廣狹百五十四万三百

狹狹九十二万六〇四

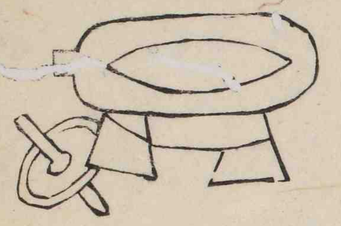
下

高九万弐六〇四

下 幅十六万四百三十二

法曰廣狹の下の坪一尺と宮く狹狹八
六寸五分六厘幅一寸狹方寸を上の廣狹
と乗じ六をかけて三寸六分六厘を
上乃狹狹と上幅の六分也狹上の
廣狹合て九寸六分を以て別ける八
分と下と廣狹合て一尺方寸を以て

別八寸五分とさて九寸六分と八寸加て一尺七寸六分五厘とこ上幅六分五厘をけて十歩〇五厘とこ又一尺六寸八分五厘八分加て〇尺〇八分五厘とこ
右十歩〇六厘を加て三十一歩三六五厘
よる六分五厘をけて十八坪八一六五厘を
六ヶ別三坪一三六五厘とこ地坪
数を万〇坪を別は三百八十〇万



八寸四分三厘四毛〇尺〇五厘
十八万四三四毛下紙三六五厘をけて九十二万六
〇四五厘光刈下校紙と上度紙とを
高一と上幅と下校紙の書一九万二六〇四也
今長徒九寸五分五厘徒二寸五分
四寸三厘四毛二寸五分五厘
ぐんの坪数紙紙又やげんの
徒の紙とはの紙を云

寸坪七四又四六七

答曰 直流一尺〇九分二厘

四流 九寸九分八厘

法曰 長徑九寸六分を掛して九十歩

〇仍又相徑二寸六分を掛して六寸

を以て右九十歩〇二又を割は一尺八寸

〇又是を掛して三百廿六歩八

〇二又を掛て六寸六分二厘

一歩〇六二又を掛て六歩四

〇二又を掛て三百廿六歩八〇二又をかけ

少〇八十六歩九又〇六〇六二又を掛て

右の四歩八四を以て割は四百三十歩

〇九八一又を掛て右の六歩四〇八六を加

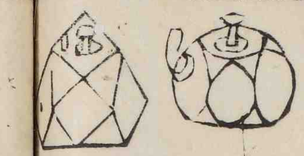
四百三十七歩三八四を掛て亟平に割

少又〇九一三七を掛て四百三十七歩三四八

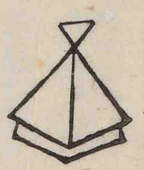
方円右九十歩〇二又を引る三百四十七

より一三四を四五乗して
五五を二反〇九一三七の内引ある二寸
二八二三をかゝて別て一寸一分四一三五五又
右の四百三十歩〇九八一反を四五乗して別
二反〇七六五五を右の小反〇九一三七
の内引ある一分八三七をとり寄して
二リ三六二三六九五五の内引て一分
四一七四二四五五右六歩四〇二反へ四をかけ
歩数歩数一反一歩也然れども此所
を四五乗して別て寸〇一四六五五四五別
て八中校の面りに六度ゝさゝく九寸五
分へ右一寸一四一三七五をかけて十歩〇八四
〇四八五五三寸〇七四六をかけて五十五歩
〇一〇九四七五七五五を三二三て別代
代坪数十七坪七四六四六三五五又九三
の所を知る中を右四歩八四へ六を
かけて廿九歩〇四五五九十歩〇二五を

加て百十九歩二九を以て歩を乗じ、別一尺〇
九二を乗じこの弧なり又は弧を知
るを右一歩又六二を乗じて九歩
三七を乗じ五を乗じ九十歩〇二五を加て九十
九歩六二を乗じ五を以て歩を乗じ別に弧九寸九八を



今麦切九寸七を乗じ五にて十一
歩を切る法を切る法を切る法を切て十二を乗じ
は三合作る又切子二五を乗じ



又円切子二巳を乗じ方切子九を乗じ
法を切る法を切て三を乗じ合て八四
麦切子徳一尺一寸三分九厘巳を
答曰切弧方九寸〇七厘弐毛九糸
蕎麦方二尺〇三分一厘九毛
法曰方切子二五を乗じ合を切る法円切子八分と同徳法
付八分と合を乗じ方切子を乗じ
なりを乗じ七寸〇七厘 円切子四厘 方切子九厘

そこそこそこ廿六ヶ所ニ三太こゝ書くことあるこ
とを以て切子八ヶ所ニ成るゆへに書くに
一倍すれば右の四角切子を方切子と
そこそこ如くにぜんぐ成ることなれば方切子
廿三の内そこそこ四ヶ所に十一ひうんとすれハ
六太ゝ書くと知るべし扨又内切子ちゝ
切子十二ヶ所ニ三太あるゆへ又そこ
切子八ヶ所ニ成るゆへに書くに右ニ別
紙に書たる如く内角切子
八ヶ七ヶ所ニ二を川ゆへ三太ニ八太書きて
そこを方切子廿三ヶ所ニ成るゆへ切
子数八ヶ七ヶ所ニ二を以て別紙に書へ廿六
三をうけて右之通ニ成るゆへ十一〇
九八七の内切子廿三ヶ所ニ川太〇ニ九八七
さゝけそこの数ニ十一〇九八七の内
四十一ヶ〇ニ六太と九太〇ニ九と三太
廿三ヶ所そこ成ゆへ九ヶ所ニ八六九